

統計研修講義計画書

研修課程	教育関係者向けコース	講義科目		講義時間	3コマ
講師	松元 新一郎 静岡大学教育学部教授				

講義のねらい

平成 29/30 年告示の小中高の学習指導要領では、統計の充実（多面的・批判的な考察、統計的問題解決の指導、小学校で代表値の指導、中学校で箱ひげ図の指導、高等学校で推測統計の指導、等）が図られ、児童・生徒の統計的思考力の伸長とともに、データの溢れる 21 世紀を生き抜くために統計を的確に読みとる力も求められています。その一方で、教師アンケート調査の結果から、統計に対する指導の不安を抱えている教師が少なくないことが明らかになっています。

そこで本講義では、統計指導の意義やねらい、そして、指導内容などを確認することを通して、統計データを用いた授業づくりについて考えていきたいと思えます。

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 統計指導の意義や重要性	なぜ統計指導の充実を図る必要があるのか考えていきます。
2. 子どもの統計に対する理解	「全国学力学習状況調査」や「PISA 調査」等から、子どもの理解度を確認します。
3. 統計指導の内容の概観	小中高で求められている統計指導の内容を概観します。特にグラフのかき方・よみとり方の理解を深めることを通して、各受講者が担当している学年の統計の位置づけが明らかになります。
4. 算数・数学以外の教科における統計グラフ	統計グラフは様々な教科指導で用いられます。子どもたちはどんなデータでどんなグラフ学んでいるのかを理解します。
5. 授業づくりで意識したいこと	4 までの内容を踏まえ、授業作りのポイントをまとめます。後半では、ICT 活用の方法について紹介します。
6. 授業例の紹介	小中高の統計の指導の具体例（算数科・数学科）を紹介します。

講義形態 指導方法

講話および簡単な演習

受講に必要な 基礎知識等

受講者（小中高の教員）が所属する校種の「学習指導要領解説 算数（数学）」（平成 29/30 年告示用）をご持参ください（高校の学習指導要領解説は、8 月初めまでに文部科学省 web ページにアップされる予定）。小中高の教員以外の受講者は、興味のある校種の「学習指導要領解説 算数（数学）」をご持参ください。